



ひょうご歴史研究室in淡路島・淡路島日本遺産海人の調査研究事業



淡路島古代史の魅力を探る

—あま 海人と国生み神話— シンポジウム

平成27年4月、兵庫県立歴史博物館に開設された「ひょうご歴史研究室」と、淡路島日本遺産委員会は、これまで淡路島の「海人」や「国生み神話」をめぐる共同研究をすすめてきました。このシンポジウムでは、その成果を3人の研究者が、文献史学と考古学の立場から、わかりやすく講演し、討議します。

五色塚古墳（神戸市垂水区）から望む明石海峡と淡路島

平成30年2月4日(日)

午後1時～午後4時30分 開場：正午 先着順・固定席220席

会場

淡路市立サンシャインホール
(淡路市浦148-1 電話0799-74-0250)

主催

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室
淡路島日本遺産委員会

(構成団体：洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路県民局・(一財)淡路島くにうみ協会・(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所)

後援

兵庫県立考古博物館

入場
無料



淡路市の引野遺跡出土の製塩土器
(古墳時代／淡路島日本遺産委員会提供)

プログラム

講演① 古市 晃 (ひょうご歴史研究室客員研究員／神戸大学准教授)
「古代の淡路島と海人」

講演② 伊藤 宏幸 (淡路市教育委員会文化財活用等担当部長)
「考古学からみた淡路島の海人」

講演③ 坂江 涉 (ひょうご歴史研究室研究コーディネーター)
「国生み神話と古代の海人」

シンポジウム

コーディネーター

高橋 明裕 (ひょうご歴史研究室客員研究員／立命館大学非常勤講師)

定松 佳重 (南あわじ市教育委員会社会教育課課長補佐)



アクセス

バス 高速バス・大磯号に乗り、「東浦バスターミナル」で下車してすぐ(三ノ宮バスターミナルより約1時間、高速舞子より約30分)
島内路線バスも「東浦バスターミナル」で下車
車 神戸淡路鳴門自動車道・東浦ICで降りて約5分
駐車 約60台駐車可。満車の場合は、北隣の「東浦ターミナルパーク」の駐車場をご利用下さい

お問い合わせ先

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 姫路市本町68
TEL 079-288-9011

29教②-025A4